

# 広報オススメ本 11月 テーマ「鍋」



## 「京都四条月岡サヨの小鍋茶屋」

柏井 壽／著

講談社

幕末時代、京都で「鍋茶屋」を営む月岡サヨ。幼い頃から料理が大好きなサヨは、十五歳で故郷を離れ茶屋等で働き、料理の腕を磨いてやっと自分の店を持つことが出来た。そんな「鍋茶屋」に縁あって訪れる様々な幕末人を、サヨはおいしい鍋料理でもてなす。



## 「まだ温かい鍋を抱いておやすみ」

彩瀬 まる／著

祥伝社

主人公の“俺”は、同じ調理師専門学校を卒業し三十数年の付き合いになる万田が入院したと聞き、見舞いに行く。俺は、思っていたより弱っている万田の姿を見て驚く。また、薄味の病院食を食べて「しょっぱい」と言う万田に戸惑い…。



## 「藤井ちゃんこ」

藤井 恵／著

学研プラス

本書は、簡単な作り方で飽きずに食べられる5つの「鍋の素」を紹介。“塩鍋”、“しょうゆ鍋”、“甘じょうゆ鍋”、“みそ鍋”、“辛みそ鍋”の5種類で、この鍋の素と2～3種類の具材で様々な味のバリエーションが楽しめるレシピが載っています。